

令和4年度事業報告

1. 事業概要

人口減少、少子高齢化が進展し、我が国が超高齢化社会に向かっている中、人生100年時代を見据え、健康で働く意欲のある高齢者が、自身の技能や経験を活かし、地域社会に密着した仕事をするにより、生きがいの充実と社会の活性化に寄与するシルバー事業は、ますます重要性を増してきており、地域社会からの期待も一層高まっています。

北広島市シルバー人材センターでは、事業運営に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症まん延の状況から、ウイズコロナの新たな段階への移行が進められ、コロナ禍からの社会活動の正常化が進みつつある中、令和4年度は感染拡大防止に最善を尽くしながら事業運営を図ってまいりました。

また、全国シルバー人材センター事業協会の「第2次会員100万人達成計画」に基づく当センターの「会員拡大計画（平成30年度～令和6年度）」により会員増加を図る必要があることから、女性会員の拡大、企業退職（予定）者層への働きかけ、退会抑制などへの取組を進めていくことが重要と考え実施してまいりました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から「シルバーふれあい祭り」など一部の行事は中止となりましたが、一日奉仕デーや3園の市立保育園への花苗寄贈、年度当初の事業計画で実施を予定していた各種講習会やイベントなどの他、交通安全教室や秋野菜収穫体験といった新たな取組も実施することができました。また、9月21日には全国シルバー人材センター事業協会会長が当センターを訪問され、旧島松駅通所及び就業現場（腐葉土、野菜、木工等）を視察するとともに、意見交換を行いました。

令和4年度の事業目標として、会員数540人、受注金額224,000千円を掲げ、会員の拡大、就業機会の開拓などに向け取り組みました。

結果は、会員数528人（入会会員数62人、退会会員数65人）、受注金額約217,816千円、就業率76.7%となりました。

主な事業実績を前年度と比較しますと、登録会員数は3名減少しており、受注件数、就業延人員についても減少していますが、契約金額はほぼ前年同額で、新型コロナウイルス感染症による影響も落ち着きが見られたことから事業実績については回復傾向にあります。

受注金額の内、請負委任事業では、公共部門が1.1%の増、企業部門が5.1%の減、家庭部門は2.3%の減となり、請負委任事業全体で見た場合、前年度比約0.4%の微減となりました。

減少の要因としては、会員の減少や高齢化により草刈り・草取り・剪定業務や家庭の除雪業務の受注に対応できなかったこと、少雪による除雪時間や単発除雪の減少したこと、また、企業からの年度当初の受注の取止めなどが挙げ

られます。

また、一般労働者派遣事業では、市内 10 カ所の事業所で派遣労働会員 59 人が就業し、派遣受注金額は約 26,608 千円で前年比 3.4% の増加となりました。就業率につきましては、派遣事業を含めると前年度より 2.8% 低くなっています。

令和 4 年度の事業運営にあたりましては、ご支援、ご協力をいただきました市民・企業・団体・北広島市並びに会員の皆さんに厚くお礼申し上げます。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度	比較増減	対前年度比
登録会員数	528 人	531 人	▲3 人	99.4%
就業実人員	405 人	422 人	▲17 人	96.0%
就 業 率	76.7%	79.5%	▲2.8%	96.5%
就業延人員	38,351 人日	39,153 人日	▲802 人日	98.0%
受注件数	1,809 件	1,907 件	▲98 件	94.9%
受注金額	217,816 千円	217,710 千円	106 千円	100.0%
請負事業	191,208 千円	191,973 千円	▲765 千円	99.6%
公 共	106,943 千円	105,738 千円	1,205 千円	101.1%
企 業	52,982 千円	55,827 千円	▲2,845 千円	94.9%
家 庭	22,088 千円	22,598 千円	▲510 千円	97.7%
独自事業	9,195 千円	7,810 千円	1,385 千円	117.7%
派遣事業	26,608 千円	25,737 千円	871 千円	103.4%
公 共	10,054 千円	9,754 千円	300 千円	103.1%
企 業	16,554 千円	15,983 千円	571 千円	103.6%

2. 事業の実施内容

(1) 事業の普及啓発と就業機会の拡大

- ① センターの会報「ふれあい」を毎月 25 日、「ふれあい特集号」を 8 月及び 1 月に発行し、センターの事業計画や就業情報、各種講習会の予定、安全就業などを周知するとともに、地区懇談会における質疑内容や職域班や女性委員会（ほほえ～む）の活動紹介、年男・年女の会員紹介等を掲載するなど情報提供を図りました。

また、毎月発行される市広報「広報北広島」にセンター専用のスペースを確保し、入会説明会、花苗・腐葉土販売や木工展示販売会などについて掲載し、会員の拡大、市民・企業などへの普及啓発に努めました。

- ② センターの社会貢献活動として、3年ぶりに「一日奉仕デー」を10月15日に実施しました。54名の会員が参加し、エルフィンロード及び市役所周辺の清掃活動を行いました。また、6月に3園の市立保育園へ花苗を寄贈しました。
- ③ 5月11日から13日までの3日間及び9月29日から10月1日までの3日間にわたり、エルフィンパーク交流広場で木工展示販売会を開催しました。
- ④ 10月の全国統一シルバー人材センター事業普及啓発促進月間に先立ち、9月29日、30日の2日間、JR北広島駅前西口で理事及び事務局職員による街頭啓発活動を行いました。また、9月15日から9月22日までの8日間にわたり、市役所5階展望ロビーにおいて、木工作品及び女性員会（ほほえ〜む）の作品展示、秋のイベントPRや啓発パネルの展示を行い、就業機会の拡大、会員の拡大に努めました。
- ⑤ シルバー活動センター及び大曲ふれあいプラザの指定管理者として、施設の適切な管理を行うとともに、市民を対象にした包丁研ぎ講習会や企業紹介ブースの設置などの自主事業を開催し、親しみやすい施設運営とセンター事業の普及に努めました。
- ⑥ 今年度初めての取組として10月6日に秋野菜収穫体験を開催しました。また、10月13日、14日の2日間、シルバー活動センターにおいて、秋野菜販売及び女性委員会（ほほえ〜む）の作品販売、会員によるミニコンサートを実施しました。
- ⑦ ホームページは、入会案内やイベント情報など内容を随時更新しながら、新しい情報の提供及び発信、情報公開に努めました。
- ⑧ 未就業会員及び就業機会の少ない会員に対する相談を随時実施し、就業機会の提供に努めました。
- ⑨ 北海道ボールパークFビレッジの開業に伴い、施設管理企業との会員就業に向けた協議を行いました。

(2) 安全就業の推進と健康管理

- ① 会員の安全と就業上の事故を未然に防止するため、安全就業対策基本計画に基づき「安全就業第一、事故ゼロ」を目標に事故防止対策及び安全教育の推進を図りましたが、物損事故3件、傷害事故5件、労災事故2件が発生しました。
- ② 安全委員会では、7月から10月まで、安全委員と理事による就業現場の安全パトロールを実施し、就業実態の点検、安全上の注意などを行い、安全就業の指導に努めました。
- ③ 草刈班や剪定班などの職域班を対象にした講習会の開催し、機械器具の取扱い、危険予知行動と事故防止の強化に努めました。

- ④ 安全就業を推進するため、4月に安全大会及び安全就業講習会を開催し、安全就業宣言を行いました。

また、安全就業と交通安全に係る標語の募集を行い、安全に対する意識啓発に努めました。標語募集の結果、安全就業標語個人の部に22点、職域班の部に25点、交通安全標語個人の部に14点、職域班の部に16点の応募があり、優秀作品を活動センターロビーに展示しました。

- ⑤ 北広島自動車学校の協力により開催を予定していた「冬道の安全運転講習会」については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりましたが、12月に北広島市交通安全推進員を講師に招き「交通安全教室」を行い、高齢者特有の安全運転のポイントを学びました。
- ⑥ 特定健診など定期的な健康診断の受診を奨励するとともに、夏場における就業時の体調管理については、特に熱中症に注意するよう呼びかけました。

(3) 適正就業

臨時的かつ短期的な就業、軽易な業務に係る就業機会を確保し、適正就業の遵守に努めました。

(4) 一般労働者派遣事業

北海道シルバー人材センター連合会北広島市事務所として一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）を実施し、派遣登録会員の就業機会の拡大を図りました。

(5) 会員の増強と知識・技能の向上

- ① 入会希望者に対して定期的に説明会を開催し、新規会員の入会促進に努めました。令和4年度に入会した会員は62名でした。
- ② 就業機会の拡大及び後継者の育成を推進するため、網戸張り、包丁研ぎ、剪定、冬囲いなど各種技能講習会の開催し、知識・技能の向上を図りました。
- ③ 北海道シルバー人材センター連合会の主催による新規入会希望者への「入会説明会」を6月と10月に開催しました。
- ④ 「会員拡大計画」の目標会員数の達成を目指し、計画を実現するため「入会促進の取組」やゴールド会員制度導入による「退会抑止の取組み」、「夫婦会員制度」など具体的取組事項に重点を置き、会員の増加に努めました。

(6) 組織の強化と事務局体制

- ① 理事会のほか、理事専門部会、各委員会を開催し、事業の適正な運営

と組織の活性化に努めました。また、9月1日には北海道シルバー人材センター連合会北海道ブロック研修会に理事6名が参加し、知識の高揚を図りました。

- ② 地域班長連絡会議、地区懇談会を開催し、班長及び会員から意見などをいただきながらセンター運営に努めました。
- ③ 北海道シルバー人材センター連合会や道内の各センターとの連携を図るとともに、職員として日常業務の円滑な遂行のために必要な知識、情報を得るため、オンラインによる安全就業推進員研修会、会計担当者研修会、派遣実務研修会、インボイス説明会などに参加し、自己研鑽に努めました。
- ④ 入会説明会に理事が持ち回りで出席し、会員の生の声を参加者に伝えるなど役員が積極的に事業運営に参画しました。

(7) 会員の福利厚生

北広島市シルバー人材センター親睦会との連携を図り、会員相互の交流と親睦を図るため日帰り研修を実施しました。

(8) 独自事業の推進

就業機会の拡大を図るため、独自事業として花苗事業・腐葉土事業・木工品事業の3事業に取り組み、販売額の増加に努めました。

花苗は、公共施設・学校関係への販売のほか、北の台ハウスでの一般販売や秋野菜の一般販売などで実績を伸ばしました。

腐葉土は、その品質が市民から高く評価されており、活動センター窓口での販売や新聞折り込みチラシによる予約販売を実施しました。

木工品は、消費者ニーズにあった作品として好評を得ており、5月と9月にエルフィンパーク交流広場で木工展示販売会を開催し、実績を大きく伸ばしました。

(9) 財政基盤強化対策

安定した事業の運営と経費の節減を基本に財政基盤の強化に向け、北広島市に要望書を提出し、補助金の確保や公共事業の発注など支援を要望したほか、会員及び役職員が一丸となって、企業及び一般家庭からの受注拡大を目指した就業拡大のPRに努めました。

(10) 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の対応

令和5年10月からの適格請求書等保存方式（インボイス制度）の施行に向けて、安定的な財政運営を図るため、事務費の見直しを行いました。

以上